

「弟子屈町で学べば子どもたちは必ず伸びる」という証を!

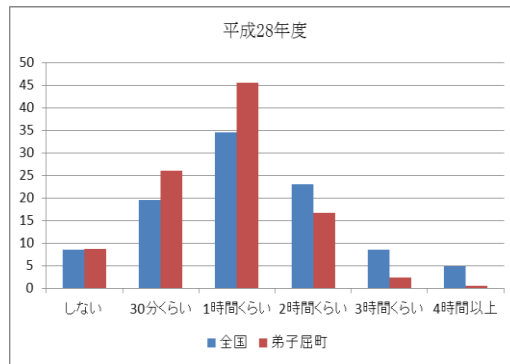
「知」



「学習」にかかわる内容です。

【子どもたちの状況】

弟子屈町の子どもたちは、「全国学力調査」や「弟子屈町学力調査」の結果から、「基礎・基本」については概ね定着が図られていますが、「活用すること」に対して課題が見られています。また、経年比較では、全体として上昇傾向にあり、がんばりが表れています。



【問】あなたは平日、学校の授業以外でどのくらい勉強をしていますか。(塾や家庭教師との勉強を含みます。)町学力調査 i-check より

【学校では次のことを努力します】

- ①「わかる、できる」を味わう授業づくりに努めます。
 - ・明確な目標の提示と学習規律の徹底
 - ・基礎的な内容や学び方の繰り返し指導
 - ・自らの考えを広げ深める「対話的な学び」の工夫
 - ・予習、復習ができる授業のまとめ
- ②意欲を高める学習環境の充実に努めます。
 - ・朝学習、朝読書や学校独自の学習イベント等の実施
 - ・放課後学習、長期休業のサポート等補充指導の充実
 - ・学習や進路に対する個別相談
- ③家庭学習の習慣が身につくよう指導します。
 - ・子ども一人ひとりが達成できる目標の設定
 - ・学年の段階に応じた家庭学習の内容・方法を理解
- ④教職員の資質向上を図ります。
 - ・教職員が一丸となって取り組む校内研修
 - ・積極的な公開授業及び公開研究会の開催
 - ・授業や取組に対する検証
 - ・各種研修講座や研究会等に積極的な参加

【家庭・地域にお願いしたいこと】

- ⑤努力することの大切さや夢中になることの楽しさを様々な機会を通じて子どもたちに伝えてください。ご家庭では、子どものがんばりや工夫を認め、褒めていただきたいと思います。
- ⑥毎年、小学校入学時に冊子「子どもの成長を願って」を配付しています。ぜひ、ご活用くださいますようお願いいたします。毎日の学習習慣が身につくよう、ご指導をお願いいたします。

「徳」



「心」にかかわる内容です。

【子どもたちの状況】

弟子屈町の子どもたちは、礼儀正しく、誰に対しても「あいさつをしよう」という意識が高く、きまりやルールを守った生活を送る心がけがよくできています。また、調査では、友好的友達関係が築かれている状況が把握できています。一方で、「自分にはいい所がある」と肯定した回答の割合は、小学校高学年や中学生になると6割程度となり、本町の子どもたちの特徴として、自分に自信がないという児童生徒が多いことがわかります。

【学校では次のことを努力します】

- ①授業や行事、活動で「充実感」を味わえるように工夫します。
 - ・自分の考えや思いを表出できる授業づくり
 - ・役割を明確にした取組の指導の充実
 - ・一人ひとりに応じた賞賛、叱咤激励
- ②カウンセリングマインドを生かした教育相談の充実を図ります。
 - ・アンケートの活用や面談など、計画的な教育相談の実施
 - ・個々に持つ不安や悩みの解消に向けた呼び出し相談や自主相談
 - ・スクールカウンセラーや心の相談員との相談
- ③体験活動と道徳教育の充実を図ります。
 - ・「人としての生き方」について共に考える「道徳の時間」の充実
 - ・学校や地域の特色を生かした体験活動の重視
 - 「ふるさと教育」「集合学習」「地域行事への参加」「フラワータッチ事業(幼保小中高連携)」など。

【家庭・地域にお願いしたいこと】

- ④「地域で子どもたちを育てる」活動の継続
 - 心の教育は特に学校・家庭・地域の3者連携が大切だと思います。これまでどおり、子どもたちが参加する様々な取組や活動をお願いいたします。
- ⑤家族の一員として自覚する場面の重視
 - 忙しい毎日を送られていると思いますが、「子どもとの会話」「家でのお手伝い」「家族での食事やイベント」を引き続きお願いします。普段は目に見えなくても、子どもたちにとっては、その後の生活や自分たちの子育てに非常に大きな影響を与えていると思います。子どもが家族の一員として自覚できるようをお願いいたします。



<お問い合わせ・相談>

■弟子屈町教育委員会
 088-3292 弟子屈町中央 2-3-1
 ☎ 015-482-2945
 ☎ fax 015-482-2350
 ☎ 担当：指導室(内線 401)

「体」

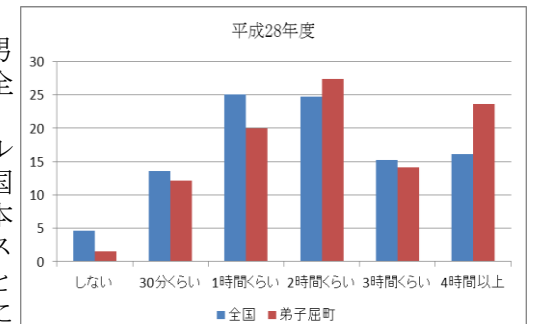


「健康・安全や生活、体力」にかかわる内容です。

【子どもたちの状況】

調査から、ここ数年の顕著な傾向として、「朝食の摂取率の低下」「運動不足」「ゲームやケータイ・スマートフォンをする時間の増加」といった課題が浮き彫りになっています。

新体力テストの結果(小5、中2)では、8種目の体力合計点が、全国平均を下回っています。種目別では、小・中学校の男女共に「握力」(筋力)が全国を上回り、「長座体前屈」(柔軟性)や「20mシャトルラン」(持久力)などで全国を下回っています。また、本町の子どもたちは「運動やスポーツをすることが好き」と回答する割合は高く、生涯にわたる健康の維持という視点を大切にして、取組を一層推進していく必要があります。



【問】あなたは平日、どれくらいの時間テレビを見たり、ゲームをしたりしていますか。(ケータイやスマホのゲームを含みます。)町学力調査 i-check より

【学校では次のことを努力します】

- ①各学校の「体力向上計画」を実行します。
 - ・保健体育、体育の授業での工夫改善
 - ・授業以外の一学校一運動
 - ・保護者との連携による生活習慣、運動習慣の改善
- ②全学年で新体力テストを実施します。
 - ・一人ひとりの目標設定と達成のための指導・助言
 - ・児童生徒の力をひき出す新体力テストの実施
- ③各機関・団体と協力して「訓練」「教室」を実施します。
 - ・交通安全教室、防犯教室、薬物乱用防止教室、ケータイ教室、防災避難訓練、食の指導、など。

【家庭・地域にお願いしたいこと】

- ④家庭でのルールについて、ぜひ話し合ってください。
 - ケータイやスマホについては「光と影」があります。様々な犯罪に巻き込まれることもあります。犯罪を犯してしまう可能性もあります。子どもがどのような使い方をしているか、ご注意ください。また、ゲームの使用時間など、家庭で決めたルールが守れないときは、一時取り上げることも必要ではないでしょうか。ぜひ、ご検討ください。

教育委員会としましても、未来を担う子どもたちが生き生きと学び、夢と希望を持って努力し続けることができよう、学校の教育活動の支援に全力で推進してまいります。「学校」「家庭」「地域社会」一体となった弟子屈町の教育の充実になお一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

